

科目名	運動療法学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
運動学・解剖学を基礎としてその治療への応用を学習する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
理学療法において最も良く行われるストレッチングと筋カトレーニングを中心に、運動学・解剖学的に詳しくその方法を教授する。後半はケース症例に対し、実際の運動療法をグループで考案・発表する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
基本的な筋の触診、ストレッチングと筋カトレーニングができる。								
回数	講義内容							
1	解剖学・運動学の復習と治療への応用							
2	解剖学・運動学の復習と治療への応用							
3	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(足関節)							
4	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(足関節)							
5	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(膝関節)							
6	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(膝関節)							
7	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(股関節)							
8	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(股関節)							
9	復習							
10	復習							
11	実技試験							
12	実技試験							
13	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(脊柱)							
14	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(脊柱)							
15	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(肩関節)							
16	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(肩関節)							
17	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(肘関節)							
18	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(肘関節)							
19	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(手関節)							
20	筋別触診、ストレッチ、筋力増強(手関節)							
21	復習							
22	実技試験							
23	実技試験							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
運動器の運動療法				小柳磨毅		羊土社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
実技試験2回と筆記試験にて評価する								